



# 楽西

～らくさい～  
No.119  
平成30年  
1月15日発行

- 社会福祉法人
- 京都視覚障害者支援センター

〒610-1111 京都市西京区大枝東長町 1-67

TEL:075-333-0171/FAX:075-333-0172

✉→info@kyo-ssc.com URL→http://www.kyo-ssc.com/

先日、全国盲学校弁論大会の録画（NHK イーテレ）を視聴した。この大会はNHKが主催し今年で86回を数える。私は数年前から視聴しているが、彼らの切実で率直な思い、訴え、主張に多くのことを教えられている。

彼らは光を失ったことの苦しみ、辛さ、葛藤、彼らに対する無理解、偏見などを乗り越え、新しい希望や目標を見出したことの喜び、また障害があっても一度しかない人生を、誇りある人間として生きる事の大切さを体験を踏まえて語る。彼らの堂々たる姿と彼らの主張、訴えには神々しささえ感じる。

登壇者は盲学校在校生だが、年齢は中学生から年配者まで幅広く、光を失い盲学校で学ぶに至るいきさつは様々である。しかし彼らが一様に強調するのは、人生に前向きになれたのは自分の力だけではない、家族、友人、先生たちの理解や励まし、見守りがあったからだということである。心ない一言で傷ついたが、何げない一言で生きる力を得た経験や、人とのつながりのありようが人生を決定づけたことを語る言葉に、私自身も多くの人とのあり方を振り返る機会となった。

去年の放送で、ある盲学校の生徒が「できないことを嘆くのではなく、できることを増やしていこう」と力強く訴えていた。これを聴いて学んだことは、この言葉は障害のある人たちだけではなく、高齢者はじめすべての人に当てはまるのではないかということ。そして障害はその人のすべてではなく、一部であるということ。また人にはそれぞれ可能性があり、この可能性を切り開くには本人の頑張りも必要だが、彼らを理解し支える人たちの存在と、できることを増やせる環境がなくてはならない、ということである。その環境を当事者の立場に立って整え、改善することは視覚障害者団体の大切な役割ではないだろうか。

新年にあたり、このことを再確認したいものである。

できることを増やそう

社会福祉法人 京都視覚障害者支援センター

理事長 野村武夫



## らくさい治療院

### みんなが叶えたいこと…

らくさい治療院は、開所して5年目を迎えています。少しずつですが、年々成果、結果が出ていて成長を感じています。

仕事を中心の治療院ですが、みんなそれぞれに叶えたいことがあるんですよ。それを少しご紹介します。



例えば、Aさんの場合、叶えたいことが海外旅行でした。海外旅行に行くにはいろんな準備があります。初めての事ですから何をどうやって準備していけばいいか解らないのは当然です。ここで、Aさんと職員で話し合っAさんができること、少し難しいことを分類し準備する事決めました。そして、海外旅行に行く準備が整って、さあ！出発！



なんとタイ旅行を実現しました。みんな拍手喝采。

これぞ仕事をするためのモチベーションアップの大成功例。

Aさんのおかげで職員のスキルアップもできて相乗効果でした。

次に、Bさんの場合、叶えたいことはオリジナル曲を作り、ユーチューブにアップしライブをすることです。当初は、叶えたいことがライブハウスに行きライブを聴くことでした。そのBさんは歌がうまく、声質が最高なんですよ。そこでこちらから、人の曲よりも自分の曲を作っては？と誘ってみました。それがとても興味が湧いたようで、早速取りかかり現在メロディーを作っている最中です。歌詞も思いついたらメモるように伝えています。そして、ギターリストは治療院のCさんが担当してくれるとのこと。

目標は、春から夏にかけて完成させることです。

とても楽しみです。みなさん、乞うご期待！





らくさい治療院 ☎075-874-3946

〒610-1111 京都市西京区大枝東長町 1-265

〈受付時間〉8:45~16:00 〈治療時間〉9:00~17:30

〈休日〉GW・お盆・年末年始・その他

このように、仕事も大事ですが、それ以外のことに夢中になれるものや、叶えたいことのために仕事をするといった、モチベーションの重要性を感じています。このふたつ以外の叶えたいことをご紹介しますと、

- ゆっくり休んで温泉旅行に行きたい。
- うまいものを食べたい。
- みんなで研修会を開催したい。
- 自然農法野菜を作ってそれを食べたい。
- 将来のために経済力を身につけたい。
- フェイスブックを立ち上げて、仕事とは関係のない仲間を増やしたい。
- 電車に乗って友達と旅行をしたい。
- 巨人戦の観戦をしたり、自分の時代のアーティストのライブに行きたい。



など、それぞれに叶えたいことに違いがあります。今すぐにでも叶えられることや段階を経て叶えていくものもあり、必ず叶えていただこうと思っています。

今年度、らくさい治療院では外部から出張のビジネスマナー講座を開催しました。来年度はみんなの要望もあり、治療院のスタッフみんなで日帰り旅行を計画しています。候補には、USJや温泉が挙がっています。

見えないことで一人では叶えられないことがたくさんあります。そこで話し合って本人が何をどこまでできるのか？職員の関わりや寄り添いがどこまで必要なのか？このコミュニケーションがお互いの信頼関係を築いていくのかなと感じています。障害のあるなしに関係なく、楽しかった、おもしろかった、最高だったを感じられる日をたくさん作っていただけたいですね。



**さあ、何かを叶えたら、  
また新しい叶えたいこと探しをしよう。  
その前に、仕事！仕事！  
今日もがんばろう。**



## 第32回法人研修旅行 ～四国方面～

当法人の研修旅行が11月16日（木）、17日（金）、一泊二日の日程で行われました。当法人の3つの施設（洛西寮、らくさい治療院、盲人ホーム美鈴）から41名の利用者が参加され、ボランティアと職員を合わせて78名の大所帯でのバス旅行です。利用者の中には旅行の機会をもつことが難しい方もおられ、一年のスケジュールの中で最も楽しみにしている方も少なくはありません。利用者の希望で行き先を決め、利用者と職員の旅行委員が一緒になって旅行中の企画を考え、運営を進めるのが伝統で、夜の宴会などは利用者が中心になって進行していきます。

### 1日目

明石海峡大橋・大鳴門橋で二つの海峡を渡り、四国へ上陸です。大鳴門橋では「渦の道」という橋桁下部に設置された総延長450mの遊歩道で、渦潮を直下に見下ろす展望スポットもあります。鳴門海峡を歩いて渡り、大自然と巨大建造物の迫力を体感しました。

また、阿波おどり会館では、阿波おどり演舞の公演の中でレクチャーを受け、体験コーナーで阿波おどりにチャレンジした利用者のひとりが表彰され、最高の笑顔でインタビューを受ける一幕もありました。

高知の宿の宴会では郷土料理の皿鉢料理に舌鼓を打ちました。班対抗のゲームやビンゴに一喜一憂し、最後の合唱では感動的なフィナーレを迎えました。



香川の琴平でふたつのグループに分かれ、「金刀比羅宮参拝」グループは、786（なやむ）マイナス1段に悩まされながらも完歩し、達成と参拝の爽快な気分を味わいました。

「うどん作り体験」グループは、音楽のリズムに乗ってうどんダンス（まぜる・こねる・のぼす・切る）をしながら、うどんがどのようにして出来上がるかを学習し、自分の作ったものを食する喜びも感じました。どちらのグループも普段できない体験ができる、旅行の醍醐味を味わいました。

### 2日目

今年の旅行では利用者自身が積極的に参加し体感できるメニューを数多く取り入れ、四国各地の文化や風土に触れることもできました。利用者から笑顔で「今年も楽しかったから、来年の旅行が楽しみ」との言葉をいただき、職員にとっても普段の疲れを忘れさせる旅行になりました。



## 洛西寮まつり



「洛西寮まつり、ただいまオープンいたします！」

テープカットではじまった洛西寮まつり。今年は、9月2日（土）の晴天の中行われました。みやびワイズメンズクラブ様の焼きそばコーナーには、長い行列ができ、前庭で販売していた唐揚げ、たこやき、飲み物なども予想以上の売れ行きで早くに完売してしまうという、嬉しいけど申し訳ない状況でした。

啓発コーナーでは、卓球バレーで盛り上がり、4階ホールは利用者の合唱、オカリナ演奏、ゲーム大会と最後の大抽選会まで、大盛り上がりでした。今年はホールで治療院のクイックマッサージをし、他施設の授産製品を販売していただいたおかげで、多くの方にきていただき、大盛況に終わったお祭りでした。

この場をお借りして、ご協力いただいたボランティア、関係者の皆様に深く感謝を申し上げます。

ありがとうございました。



## 盲人ホーム 美鈴



### 第14回 FUNAOKA STANDARD

11月4日（土）、毎年恒例の第14回船岡スタンダードに参加してきました。

船岡スタンダードは、北区に住んでいる障害のある人も障害のない人も、みんなが船岡山公園で楽しめる、スタンダードなお祭りになる事を願われ行われています。

今年は24か所の施設が参加し、フランクフルトやサバ缶トマトスパゲッティなどの屋台、ダンス・和太鼓等のパフォーマンス、そして点字体験などの啓発コーナーで賑わい、美鈴のメンバーも楽しいひとときをすごしました。

美鈴は、クイックマッサージを行い、毎年楽しみに来て下さるおなじみさんもできて、地域の方々と楽しく温かく交流ができました。

笑顔のすばらしさを実感できた1日でした。



# ちくりん



## 日帰りレクレーション「エキスポシティ」

10月5日（木）、ちくりんの日帰りレクレーションでエキスポシティに行ってきました。今回は利用者の希望により、「それぞれ好きな物を食べて、好きな事を楽しむ。」をテーマに、企画しました。



当日はバスと電車を使い、現地まで行きました。到着したら全員で記念写真を撮り、その後は自由行動です。万博公園や店内を回り時間を過ごす方、買い物や喫茶を楽しむ方、観覧車に乗られる方など、皆さん有意義な時間をすごされていました。昼食も食べたいものをお腹いっぱい食べられていました。エキスポシティの中はとてつもなく広くて一日では回れなかったから、「また行ってみたい。」などの声もありました。

楽しいひとときとなりました。



## ちくりん忘年会

12月8日（金）、ちくりんの忘年会を行いました。

毎年、外食に行っていることが多かった、ちくりんですが、今回は「食べるだけではなく、何かしたい。」という利用者の希望から、施設の4階ホールで行われることとなりました。皆さんの食べたいものを買ってきて食べるスタイルで、サンドイッチやチキン、お好み焼き、ピザなど皆さん嬉しそうに召し上がりました。また食事の他にも、カラオケや卓球バレーなど、楽しい賑やかな会となりました。



# あんなこと♪こんなこと♪



## 喫茶サービス



昨年の10月より「喫茶サービス」を始め、ちょうど1年が経過しました。洛西寮では日中活動の事業所が、「ちくりん」と「らくさい作業所」に分かれ、利用者間の交流が少ないことと、作業を終えたところで『ほっ！』と一息したいという利用者の要望もあり、「喫茶サービス」を始めました。毎週水曜日の午後3時から、食堂が喫茶店に変わり、炒りたてのコーヒーの良い香りの中、利用者と職員が各テーブルに座り、おしゃべりを楽しんでいます。美味しいコーヒーを飲みながら、話も盛り上がり、30分があっという間に過ぎていきます。先日、「喫茶サービス」について、利用者の皆さんに意見を聞いたところ、全員から喫茶を続けてほしいという要望が寄せられました。また、「喫茶の時に菓子もほしい。」「コーヒー以外にココアも飲みたい。」「夏はアイスコーヒーにしてほしい。」など、いろいろな要望がありましたので、今後検討していきたいと思えます。



## 共通活動日（ヨガ・音楽）



洛西寮では、水曜日の午後3時30分より「ちくりん」利用者と「らくさい作業所」利用者の共通の活動日として、外部講師を招いて「ヨガ」や「音楽」活動をしています。毎月第2水曜日は「ヨガ」の時間で、利用者の健康維持と精神的な安定をはかる目的で小倉先生の指導の下、毎回約13名の利用者が参加されています。また、毎月第4水曜日は「音楽」の時間で、季節に合わせた曲目を事前に決めて、白数先生の発声指導と成宮先生のピアノ演奏の下、皆さん元気よく歌を歌ってられます。



## 洛友会「クリスマス会・茶話会」



毎年恒例の朗読ボランティア・洛友会合同企画「クリスマス会・茶話会」が、去る12月15日（金）午後より開催されました。利用者36名、洛西寮ボランティア19名とヨガ・音楽でお世話になっている3名の先生方を含め73名が参加されました。ボランティアの自己紹介の後、朗読ボ



ランティアによる朗読劇「たいせつなこと」、「ききみみずきん」が披露されました。また洛友会の演し物として、5つのテーブルグループ代表者（ボランティア・職員）による競技（けん玉のせ・バスケットボールシュート）やイントロクイズなど、楽しいテーブル対抗企画が実施され、大いに盛り上がりました。最後は、お楽しみのプレゼントがあり、利用者から喜びの声があがりました。

●●● 視覚障害者支援ボランティア養成講座のご案内 ●●●

【日時】平成30年2月3日(土) 10時~12時  
【会場】洛西新林会館

視覚障害のある方の地域での暮らしについて考えてみませんか

プログラム (120分)

「見えない」世界で生きること

当事者の松永信也さんから、視覚障害のある方々をとりまく社会情勢や実際の生活についてお話しいただき、「視覚障害」への理解を深めます。

さまざまな「見えにくさ」を体験してみよう

歩行訓練士から「様々な見えにくさ」を紹介し、その見え方を実際に体験します。

地域の中で私たちにできること—「手引き歩行」体験を通じて—

視覚障害のある方への声のかけ方や誘導方法等を体験し、地域で見かけたとき、私たちができることについて考えます。

<問合せ> 西京区社会福祉協議会 (担当: 島田・柴崎)

電話: 394-5711 FAX: 394-5712

<主催> 障害者支援施設洛西寮・西京区社会福祉協議会

<協力> 西京視覚障害者協会

ご寄附・ご寄贈

※8月~12月 (五十音順・敬称略)

以下の方々より、ご寄附・ご寄贈を頂戴いたしました。ありがとうございました。

ご寄附 (合計 190,000 円)

大芝幸雄 片山千恵子 甲賀光秀

すこやかクラブ西京 竹川勝見 野口君枝

野村武夫

ご寄贈 (10件)

新子義則 出原恵子 (株) 朱常分店

京都青果協会 鈴木綾 舌間敦子 高橋順子

高栖淳 田中美恵 西牟田さちこ

西京地区更生保護女性会 平井多津子

月編集後記月 AI (人工知能) の発達で、レジや駅は、無人になり自動化され、電気が一言でつき、車も自動運転される時代がやってきた。今までのやり方で! とか、前はそやった、などと言っていたら取り残されていくのが目に見えている。「温故知新」という言葉が頭に浮かぶ。絶対に変わることがない部分を忘れずに、新しく変化を続けているものを取り入れていくこと。これこそまさに生き残る最大のすべではないだろうか。H